

你好

中国語を学ぶ会
平成15年2月発行 第16号
連絡先 Tel 33-3177
神 山 Fax 32-5594

时光过得真快! 已经到了二月了。 学如逆水行舟, 不进则退。

暖冬の予報に反して寒い日が続きますが
が同学の皆さんお元気ですか?

つい先ごろ、お正月が来たと思ってい
たらもう節分も過ぎてしまいました。

先の短い老人にとってはなおさらのこ
と 光阴似箭 (guāng yīn sì jiàn) の
感を深くします。

表題にも書きましたが、ボヤボヤして
いるとあっという間に時は流れて行きます。
常に 不懈(xi è)地努力 を忘れずに
頑張りましょう。

前の号で勉強法についての提案をしま
したが、星期三班では次のような試みを
始めました。各人がこんな言葉を中国語
で言ってみたいという日本語の会話形式
例文を作ってみんなに配ります。それを
中国語に訳してきて、何人かで黒板に書
いて発表します。自分の訳文と比べて
りしながら、最後に老师に直していただき
ます。もちろん正解? は一つではありません
が中々面白い勉強法だと思います。
ただ、ここで終わっては単なる作文にす
ぎません。これからは、この中国語の例
文を使って会話の練習に結びつけていき
たいと考えています。あなたの班でもな
にか始めてみてはいかががでしょうか。
哦, 对了! 星期三班でまだ例文を未提出
の同学、大至急出してくださいヨ!

この会報のタイトル文字を本号から変
えてみました。やっぱり中国語で「你好」
としたほうがすっきりして、この会報に
ふさわしいような気がしました。ご意見
がありましたらお寄せください。

12月18日忘年会が盛大に、そして
とっても楽しく開催されました。今村さ
んの企画立案そして司会進行と獅子奮迅
(ちょっと古いかな?) の活躍で盛り上
がりました。料理や酒もうまかったし、
ゲームも面白かった。その上お土産まで
もらって非常感謝! 私たちの会は、同
じサークルでありながら、こんな機会でも
ないと顔を合わせる事のない人たちが
たくさん居ります。これからは万難を
排して参加してください。今度の「餃子
を作る会」に期待してますよ。

首を長くして待っていますが、なかな
か届きません。そう、この「你好」の原
稿のことなのです。特定の人書いたもの
だけでは内容も片寄り面白くありません
し限界があります。だから同学のみな
さんの紙上交流の場として活用したいの
です。中国語で書かなければ、とか立派
な文章を、などと考えるとついおっくう
になってしまいます。身の回り、日常の
こと、あるいは家族のこと、私の勉強法、
悩みなどなんでも結構です。都合が悪
ければ紙上匿名でも OK です。書けたら上
の 传真号码 (chū ān zhēn hǎo mǎ)
へファックスして下さい。手渡しでも可
以ですよ。次号の原稿締め切りは **4月
中旬**を予定しています。今から書き始め
て準備をしてください。その頃には多分
新入の仲間が増えていることでしょう。
そうだ、新入生に送る言葉なんかもいい
かもしれませんね。

会の運営や、この「你好」についての
ご意見やご希望などもお寄せください。

それでは次号まで、再见!

初めて昆明、桂林に行ってきました
星期三班 川合茂弘

昨年は日中友好 30 周年なので中国各地の観光地紹介も何度かTV放送がされ、この中で9月にNHKで桂林漓江下り実況が有り、この後も何度か再放送されました。

景色の良さに魅せられ、この放送を見ていた友人達と行こうと言う事になり決まったのが 11 月も最後の日となってしまいました。冬で寒くない？地図を見ると日本よりかなり南方、ベトナムに近いので寒くは無いだろう、旅行社に聞いても温かいですとの事。

ある本によるとこうも書いてある。“冬の間北京から雲南省へ旅に出ることは心が弾む思いがする。省都、昆明の気候は「一年四季を通じて春の如し」と形容されるが真にそのとうり。真冬でも平均気温が 7、8℃。それでいて真夏は 20℃を僅かに下回るくらいと実に過しやすい。それゆえ古来から「春城」との雅称で呼ばれてきた。凍てついた北京空港から一気に南下して眼下に広がる湖・滇池のほとりに昆明の街並みが見えてくる。機外に一步でた時に出迎えてくれる鼻をくすぐる草の香り、生暖かい空気。その瞬間、体がほぐれて行くのが感じられる程だ。海拔 1895メートルの高原をわたる風はいつも心地よい”もうここまで読めば寒くもないし景色も良いし行かない手はない。更に雲南省は普通語の地域だとも出ている。

学習している事の実地訓練の良い機会、通じるかどうか試してこよう。準備万端、11月最後の土曜日、成田から6時間、昆明の街に着く。本に書いてあるとうり、生暖かい空気が出迎えてくれた。バスから見る街の風景も道沿いに花が植え込まれていてやはり「春城」の感じであり、これからの旅の期待が満開となる。翌日石林、博物館など見学、石林の奇岩は付近一帯が侵食で出来たのだろう 2-30m ぐらいの石柱の林である。

少数民族衣装を着たガイドさんがいてとてもカラフル。天気も快晴だったのでコートを手放して丁度良い。翌日、桂林へ飛行機で東へ約1時間、いよいよ今回の旅行のハイライト漓江下り、その前に瀘笛岩見

学、ここは地下に出来た鍾乳洞、これまたビックリするほど大きな洞である。

見学後やっと漓江下り、桂林から乗船、川の水は透き通っていて底が見える、水深は浅いが流れは緩やか、船底の浅い船で出発、エンジン音も殆ど聞こえない 100 人程乗りの良い船である。天気は曇り空、山が見えるか多少心配するも5分も走ると山水画の世界に入る。

TVで見たのと同じだ、山は目の前に迫ってきて更に幾重にも後方にも重なっている。本物の山水画の世界だと感じ入る。乗船者もじっと画の世界に溶け込んでいるのか無言で見入っている。

2時間を過ぎると山の形がなだらかになり景色も少し平凡になり船上での昼食となる。漓江でとれた川海老や蟹の空揚げが中国ビールに良く合いとても美味しい。昼食が終わるとまた山水画の世界が始まり人民元 20 元お札の裏に印刷されている風景と同じ場所にくる、竹の筏もゆったり浮かんでいる。

それと冬だが船から見える木々は全て緑である。4時間ほどの船旅も陽策の街で下船、この街も何処からでも山水画に出てくる山が見え暫く逗留したいような感じの良い街。ここから大都会の広州を經由して無事成田へ戻ってきました。

今回の旅は大手旅行会社のツアーへの参加でしたが行く先々のお店、ホテルその他皆何処でも日本語を流暢にこなしてくれ何の苦勞もありませんでした。街の中に入り、街の人と触れ合わないと中々、勉強の成果を試す事は出来ないと思いました。

それでも宿泊先のホテルの前にウエディングドレスを着た若いカップルが招待客を迎えているのかキャンディバスケットを持った友人と玄関前で待っているのを見かけました。習いたてのおめでとの言葉をかけてあげたら喜んでくれキャンディーを頂きました、一言二言の言葉が通じたのかどうか分かりませんがおめでたい席なので福を少し分けてくれたのでしよう。

冬でも中国西南地方は寒くありません、楽しいたびでした。楽をする旅はツアーに参加、勉強の成果を試すならフリーツアーが良いようです。

外国語学習のコツは？

星期三班 T.O.

私は、中国語の学習を始めて5年を経過しましたが、簡単な会話のやり取りも出来ない状況で、あと、どの程度学習すれば日常生活に困らない程度の会話出来るのか？今の学習方法を続けることにしばしば不安に思うことがあります。

一説によると、日常生活に困らない程度の会話出来るようになるには、1000時間以上の学習時間が必要であるとのことであるが、私の学習時間はもう、これに近くなっているのに、上手になる予感が湧いてきません。自分には外国語を習得する能力がないのかと思うこともあります、自虐的になっても何の解決にもならないし、むしろ、学習方法が悪いのだと思うようにしています。

それでは、どのような学習方法が良いのか？今でも分かりませんが、今年のNHKラジオ中国語講座11月号124頁に遠藤光暁先生の『なまけ者の中国語学習法—その2』で紹介されているシュリーマン式外国語学習法<音読と暗記>のうちで出来ることを、暫く真似してみようと思っています。要点は以下のように記述されています。

「…私はあらゆる言語の習得を容易にする一方法を発見した。この簡単な方法とはまず次のことにある。非常に多く音読すること、決して翻訳しないこと、毎日1時間あてること、つねに興味ある対象について作文を書くこと、これを教師の指導によって訂正すること、毎日直されたものを暗記して、次の時間に暗誦すること。……」

他にもいろいろと書かれていますが、最も中心になるのは、大きな声で音読すること、この一点に尽きます。

大きな声で音読することを早速真似してみました、15分もすると咽喉が痛くなってしまうことが分かりました。無理をしようとする、途中で挫折するので、一日に15分以上を目安に断続的になるべく音読することにしました。半年位で上達の予感が出てくればと、楽しみにしています。さて、皆様はどのような学習方法を実践されているでしょうか。

赤ん坊にも負けそう！

星期三班 S.K.

私の家に間もなく2歳になる孫がいる。彼女が生まれたてから、周囲の大人たちは彼女が理解できるかどうかなどにはお構いなしにずっと話しかけてきた。「だっこする？」「ばいばい飲む？」さらに「さあ立っち」「あんよあんよ」などと……やがてその言葉に反応を示すようになる。そして最近ではやっと幾つかの動詞や名詞・形容詞などを話せるだけなのに、大人と十分に意思の疎通が出来るようになった。

それどころか、いつどこで覚えたんだろうかとびっくりするような言葉を発することがある。「がんばって！」「じょうずね」「さむいね」など、これはまったく大人の口真似だ。

語順がどうの文法がこうの、などとはお構いなしに発する彼女の言葉が、その場面にぴったりの表現なのにも驚かされる。毎日浴びせかけられる意味不明の言葉を彼女の脳はしっかりと記憶し続け、ある日突然口をついて出てくるようになるのだ。

話は硬くなるが、「カタストロフの理論」というのがあるらしい。これを簡単に説明すると、水を火にかけると温度が徐々に上昇し続け、100度に達したところで気体に変化する。つまり臨界点を超えると質的に異なったものへと激変するという現象を指すのだ。

我々の中国語学習にも同じような現象を期待しても良いのではなかろうか。火の力が弱いといつまでも臨界点に達しないから、それなりの工夫と努力は欠かせないが、ある日突然に……の日は早く訪れるよう希望を持って加油！加油！

お互い、赤ん坊に負けないように頑張らしましょう。

秘密の記憶法

星期三班 五十嵐真美

新しい単語が覚えられない、いや習った単語ですら忘れてる。文法もすぐ忘れるし、新しい事が頭に入らない、とお嘆きの皆様。なにかいい方法はないものでしょうか。

その1. 体で覚える、水泳や自転車に乗るなど体で覚えると忘れにくいですね。そうそう、小学校の時漢字を何回も書き取りしましたよね。繰り返して体に覚えこませましょう。

その2. 語呂合わせで歴史の年号を覚えたことは誰にでも覚えがあるでしょう。0'CLOCKというつづりを誰かが「教えるおしけ」と言ったのを今でも覚えています。何かと引っ掛けて覚えると忘れにくくなります。

その3. 感情が伴うとはっきり覚えていきます。とても嬉しいとか悔しいとかの場面ははっきり覚えているでしょう。だからといって、これから単語を覚えるたびに自分をつねったりぶったりして泣きながらというのはいかがなものか。あざばかりできて単語は覚えてもちょっと痛いなあ。

先日テレビで記憶法の事をやっていました。般若心経を初めて見る女子学生を2グループに分け、6時間与えて覚えてもらい、翌朝テストするというものです。片方のグループには記憶の秘策を授けました。翌朝のテストではナンと秘策グループは全員満点、そうでないグループは一人だけ合格で後は全滅というはっきりした結果ができました。では、その秘策、とは何でしょう。それはまた次号の「にいはお」をご覧ください

い、と言ったら皆さんお怒りになると思うのでその秘密を今、特別に明かしましょう。

①休憩をとる

1時間やったら10分休んで気分転換する。がしかしやるだけではだめ、適度にリラックスして気分を換えて取り組みましょう。

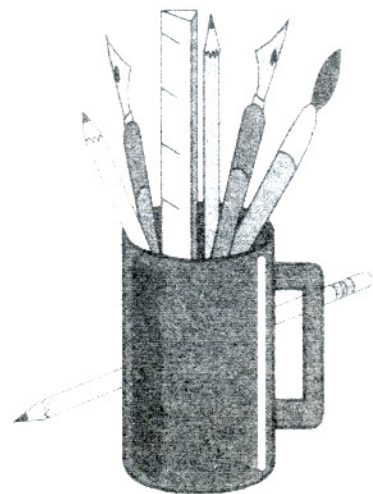
②寝る

覚えたなと思ったら寝る。せっかく覚えたものを定着させるためにも寝る。徹夜などしてもよけいな事が頭に入ってしまいうので寝るのが一番。私の場合、覚えていなくても寝る、という欠点はあるが……

③翌朝チェックする

前夜覚えたからと言って安心せず、ちゃんと覚えているかチェックし、記憶を補完するのが大事です。

何だかどれも学生時代の試験前にはやっていたような。これが秘策?というような平凡なものようですが、科学的データの裏づけがあるものでこの3つを覚えていればあなたの記憶力もぐ——んとアップ、間違いなし。といってこの秘策を忘れてしまわないように。皆さんもぜひやってみてはいかがでしょう。



ただほど怖いものはない

上海のメインストリート淮海路を歩いていると突然横からさっと手が伸びてきて腕をつかまれた。

これは化粧品を路上で売りこむ「推銷員 tuī xiāo yuán」だ。40代のおばさんたちが数人、自分の縄張りを決めてカモの到来を待ち構えている。このおばさんに付いて行くと近くのビルの屋上などに連れていかれ怪しげな化粧品を法外な値段で売りつけられる。

「小姐! 现在免费美容你来做做!」と声をかけられることもしょっちゅうだ。

免费につられて付いて行くとひどい目にあわされる。「免费做顔 miǎn fèi zuò yǎn」はパックをしながら商品をすすめ、買わないとパックをしたままほっておかれる。「免费染发 rǎn fà」は半分まで染めておいて全部やるならお金を出せと凄まれる。「免费擦鞋 cā xié」は片一方だけ磨いて、両方やるなら金を払えとくる。

皆さん、免费の甘い言葉につられてひどい目にあわないよう、ご用心! ご用心!

こんなホテルもあるので

中国に行ってみてニコニコ顔で対応を受けたことありますか? 国営企業の商法、「売ってやる」方式が尾を引いて「お客様は神様だ」の精神に欠けていました。だからホテルの売店などで店員に声をかけても振り向いてもくれないようなことがよくありました。

最近では個人企業が盛んになり、あるいは販売員教育が行われるなど大分改善されてきています。

これは7~8年も前の話です。私は三国志の旧跡を訪ねるため陝西省の漢中から中国大陸を南北に分かつ分水嶺「大秦嶺」を越えて宝鶏へと向かいました。

3千メートル級の峰々の間の四つの峠を越え、10時間、280キロのバスの旅でした。

到着した宝鶏のホテルは「宝鶏宾馆」。付近に人家もなく、広い敷地の中には池あ

りプールあり、ホテルの建物は平屋建て、そしてあちこちにコテージ風の建物がたくさん建っている。

長屋造りのようなホテルに入ると、リングのような真っ赤なほっぺの10代と思われる小姐がにこにこしながら部屋まで案内してくれた。

がちやがちやと手に持った鍵の束の中から選び出して、粗末なアパートのような木製のドアを開けて「请进!」。

お客に鍵は渡さないのです。内側からポッチを押せばロックされるドアではあるが、入る時にはどうするのだろう。

心配は要りません、玄関で声をかけ部屋番号を言えばあの可愛い小姐が一目散に走って部屋の前でドアを開けて待っていてくれるのです。子供のような彼女は話しかけても恥ずかしがってただ笑顔のみせるだけ。

建物も部屋の設備もお粗末でしたが、食事の時でも従業員たちの態度がとっても和やかで心温まる思いがいたしました。ピカピカのホテルには何時でも泊まることができず、こんなに気持ちのよいホテルにはめったに泊まれません。良い思い出として残っています。

これも或る田舎街のホテルに泊まったときのことで。部屋に塵かごが置いてないので仕方なく浴室兼トイレの箆を持ってきて使っていました。

翌日その箆は再び浴室に戻されていきました。そこで質問です。なぜでしょうか? 私も最初は気づかなかったのですが、その箆はトイレで使用後の紙を入れるために用意されていたようです。中国のペーパーは紙質が悪く水に溶けにくいので水詰りを起こしやすいのです。

それ以来私は一巻きのペーパーを持参するようにしています。

そう言えば公共厕所などにも同じような箆を見かけたことがありました。公共厕所では新聞紙などを使うことが多いので当然かもしれませんが……。

これは昔の話ですから誤解なきように、不浄な話で失礼いたしました。

北京人の朝めし

北京市民の多くは自宅で朝食を作らず道端の屋台で食べてから仕事に向かう。しかし主に地方からの出稼ぎ者が経営する屋台は街の美観を損なうばかりか衛生的にも問題を抱えている。

食べ物の下ごしらえは不衛生な場所で行われるし、雨の少ない北京では露天の食べ物はほこりまみれになってしまう。

そこで最近「早餐車」というのが出現したそうだ。車といっても自動車ではなくワゴン車のようなもので、屋台と違うのは既製品を売る点にある。食品会社が工場で当日生産した物を包装して配送する。早餐車では保温するだけだから屋台と違って衛生的だ。

ただ、中国人の好きな油条や油餅などの揚げ物がないというからどれだけ市民に受け入れられるか今のところ分からない。

このように不衛生な屋台ではあるが、とてもおいしかった思い出がある。

96年10月、中国語を学ぶ会の同学13名で北京6日間の旅行をしたことがある。4日目の朝、ホテルの朝食にも飽きてきたので庶民の味を屋台で立ち食いしてみようということになった。

宿泊した民族飯店から長安街を5分も歩けば有名な繁華街「西单大街」に着く。西单菜市場の先の路地に入ると屋台がずらりと並び、砕いた練炭を燃料にした窯の上に小さなせいろを積み上げ、もうもうと湯気を立てているのが「小笼包」だ。

うす汚い男が手作りした小笼包を醤油で煮しめたような色の布を敷いたせいろで蒸しあげる。どう見ても不衛生極まりない食べ物であるが、加熱してあるから大丈夫だろうと思い切ってみんな食べてみた。せいろ一枚に10個の小笼包、これで2块5(約35円)。値段も安いし味も最高と好評だった。

翌朝も懲りずに又ここを訪れ香菜がたっぷり入った一杯1块の馄饨húntun(ワンタン)と小笼包を食べてしまった。

あれからもう6年余り、光阴似箭。

压岁钱

お正月が来ると子供たちにとって最も楽しみなものはお年玉(压岁钱 yāsuìqián)だ。それにしても圣诞节(クリスマス)にはプレゼント(礼物)をねだり、正月(春节)にはお年玉を期待されては大人たちは大変だ。

中国でも一人っ子政策のお陰で両親や祖父母からのお年玉を独り占めできるのでけっこう大金を持つ子供たちが増えているようだ。

北京、上海、広州、成都の4都市の小学生を対象とした調査によると、北京の子供たちの小遣い(零花钱 línghuāqián)は平均200元(約3千円)で4都市中のトップ。そのうち10%は300元以上で、500元以上の小学生も4%を占めるという。

北京以外の3都市平均は150元以下と大きく差をつけられている。

子供の小遣いは、春节に両親や親戚からもらう压岁钱が主な収入源となっているが、その使いみちの主なもの、男の子はゲームソフト(游戏光盘 yóuxìguāngpán)女の子はおしゃれや服を買うのに使っているという。

あなたはこのお正月、お年玉でいくらの出費がありましたか?



爆竹

中国のお正月には欠かすことのできない爆竹ですが、北京や上海などの大都市では鳴らすことが禁止されています。

しかし地方の中小都市や農村では今でも盛大に爆竹を鳴らして春节を祝っています。

私も数年前に田舎を旅行していたとき、赤や黄の派手な衣装をまとった一群が轎を持ちトランペットを吹き鳴らしながら道路を歩いているのに出会いました。彼らは工場や加油站(ガソリンスタンド)などにさしかかると門柱や塀などに爆竹を架け火を着けました。

爆竹の量も半端じゃありませんが、その音たるや正に天をもつんざくばかりの大音量、思わず耳に両手を当てました。

正月に爆竹を鳴らす習慣は、すでに漢代からあったそうですが、それではなぜ正月に爆竹を鳴らすのかご存知ですか?

受け売りですがそれにまつわる有名な昔話をご紹介します。

昔々「年」という怪物がいたそう。年」は冬になると山から下りて来て村人を襲い、家畜や穀物を奪っていくのだそう。村人たちはこの恐ろしい「年」をなんとかして退治したいと思うのだがその方法が見つからずにはほとほと困り果てていたとき。

ある冬、また村を襲った「年」は牛飼いの子供と出会ったそう。その子供は爆竹を鳴らして遊んでいたんだが、なななんと「年」は爆竹の音にびっくりしてあわてふためき山へ逃げ帰ろうとしたそう。逃げる途中で今度は赤い服を着た村人に出会ってしまったとき。「年」はまたびっくりして逃げ出したそう。あまり逃げ回ったのでくたびれてしまった「年」がある農家の軒先で一休みしようと窓からのぞくとローソクの光が目に入ったのだそう。ローソクの光にまたびっくりした「年」はあわてて山に逃げ帰ってしまったとき。

村人たちは「年」の弱点が「音」と「赤」

と「光」であることが分かったので、毎年冬になると爆竹、赤い提灯、赤い服でお祝いをして「年」を追い払うことにしたのだそう。

それからというもの、「年」に襲われることもなく平和な村になってみんな幸せに暮らすことができるようになったとき。

さてさて、これで正月に爆竹を鳴らすわけがお分かりになったことじゃろう。これが転じて新年を祝うシンボルになったというわけじゃ。

赤については今でも「对联」duìlián(赤い紙に目出度いことなどを書いて家の戸口に対にして張る)の習慣が残っているのを目にしたことがあるじゃろう。

さてさて、紙面にやや余裕がありそうなので正月に関わりの深い年賀状について蒞蓄を傾けてみよう。

遠くは千年も昔の話、宋の国にはすでに年始回りをする習慣があったようだ。年始回りに欠かせないのが「送刺」というもの。これは梅の花などのめでたい模様金箔などをほどこした豪華なカードだ。

このカードは「刺」と呼ばれ名前や住所が記してあり、これに祝賀の言葉を付け加えて送りあったのが年賀状の始まりだと言われている。

漢代に発明された紙は、宋代にはかなり普及していたようでカード送りは一般にまで広がっていたといわれる。

紙の「刺」の前には木札が使われていた。隋、唐代以前は桃の木に描かれていた年画も、宋代には紙に刷られるようになって大きく発展してきた。

「送刺」の習慣は鎌倉時代の日本に伝わり、日本では「名札」とか「手札」とか呼ばれて次第に定着していったと言われている。

それが現在の名刺につながってきているのであろう。そういえば私も名刺を手放してから十数年。相手の顔を思い浮かべながら頂いた名刺を整理していたころがなつかしく思い出される。

パソコン始めてみませんか

やってみたいけど、うまく出来るかどうか自信が無い。高いお金を出して買って、もし出来なかったらどうしよう。

実は私もそんな悩みを持っていましたが、思い切って67歳の時にパソコンを買いました。

配線をつなぎ、電源を入れたら画面が現れ、おかしいと思うでしょうが思わず一人で小躍りしたものです。

それから取り扱い説明書を読んだり、解説書を買い込んだりして独学でなんとかこなしてきました。前号までの「にはお」もそのパソコンで作ってきたものですが昨年末に買い換えました。

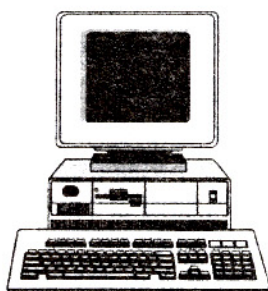
そこで、これから始めてみようとお考えの方にそのパソコンを格安にてお譲りしたいと思います。

富士通のFMV-DESKPOWER SV II 267と言う機種です。Windows98、ハードデスク4.3GB メモリ64MB、Word98とExcel Outlook。ディスプレイは17型。

日進月歩の時代、3年も経てば大変な旧型になりますが普通に使う分にはなんら支障はありませんし、インターネットへの接続もOKです。購入当時のCDやメーカーの解説書などもすべて揃っています。中国語が書けるソフト「NiHaoWin」(2万円で購入)と入門解説書数冊もお付けします。

これを使って「提高汉语水平」に活用してみてください。

興味のある方は現品を見にきてください。値段はその時に商量商量。セットアップのお手伝いもいたします。



連絡先
神山
電話 33-3177

希望者複数の場合は話し合ってください。

鐘の音

お正月には初詣に行きましたか？
今年は不景気のためか、寒さが影響したのか各地の神社仏閣への初詣客が軒並み減少したと報じられました。

お寺に参拝に行くと鐘をつかせる場所がありますが、大抵はお賽銭箱に100円程度は入れなければなりません。それでも自分で鳴らした鐘の余韻を聞いているとなにか清々しい新年を迎えた気持ちになるものです。

ところで、中国は江蘇省のいくつかの有名なお寺でこの新年の「鐘の音」を競売にかけるところが現れたそうです。

最初に始めたのが皆さんもご存知、あの有名な蘇州の寒山寺です。150回分のうち既に100回余りが売れてしまったそうです。それにしてもあの狭い階段を100人以上の人が昇り降りするのは大変なことでしょう。

これを見たほかの寺でも真似をするところが続出、価格は1回2千元から3千元とさまざまですが、ゴーんと一つき3万円以上もするとは驚きですね。

こんな大金を出しても鐘をつきたい中国人が大勢いるということは中国の景気が良いということになるのでしょうか。

これに対し、鐘つきは宗教儀式であって、これによって利益を追求するとは仏教精神に反するものだと追随しないお寺もあるそうです。

ご連絡は
2月14日までに
お願いします。

プリンターは付いて
おりませんので別途
お買い求めください。